

令和2年度 第1回奈良県学校・地域パートナーシップ事業 地域学校協働活動推進員等連絡会 実施報告書

- 1 日時 令和2年9月28日(月) 10:00~12:00
- 2 会場 奈良県立教育研究所 大講座室 中講座室1~3
- 3 参加者 学校・地域パートナーシップ事業における地域学校協働活動推進員等 計82名
- 4 内容 10:00~10:05 開会
 10:05~10:20 行政説明「地域と共にある学校づくり」
 10:20~10:40 課題提起「今考えたい地域学校協働活動」
 奈良県CSアドバイザー 新谷 明美
 10:45~11:55 情報交換「子どもたちのためにできること」
 11:55~12:00 閉会



5 課題提起の概要

- ・ コロナ禍において、学校が休校となって以来、私たちコーディネーター、地域学校協働本部は、こういう事態に対して何ができるのか、本当に何も浮かばなかったというのが、初めのスタートでした。私がつながっている全国にいるコーディネーターと「何ができる」「何を考えればよい」「何をすべきなのか」を情報交換しても、本当に答えがみつかりませんでした。
- ・ だからといって、子どもたちと地域の方のふれあう機会を無くしてしまってよいのか。子どもたちは家で何をしているのだろうか。私たちコーディネーターは、地域と学校の橋渡し役として、力を尽くしてきましたが、それは子どもたちの育ちだけではなく、地域の活性化にも結びつくという考えをもった上で活動してきました。そんなことを考えたとき、「今までの考え方やコーディネーターとして担ってきた様々な活動を止めてはいけけないのではないか」というような考えに至りました。
- ・ コロナ禍が治まってはいませんが、子どもたちが協働活動から切り離されてしまってよいわけでは決してないはず。様々な制限があるのは、意味があるからで、それを無視して動くわけにはいきません。今、こんな時だからこそ、地域学校協働活動の本質について、じっくり考え直す時期にしてはどうかということを、皆さんへの提案とさせていただきます。
- ・ 地域と学校が手をとりあって、連携して子どもたちを見守り育てるという考え方は、「支援」でも「協働」でも変わりありませんが、学校と地域が課題と目的を共有して行う「協働」をめざしていくのが、コーディネーターの務めとなります。だからこそ、活動ありきで動かない。地域学校協働活動は、「この活動によって、子どもたちがどのような力を身につけるのか」という視点が重要です。コロナ禍で「できること」「できないこと」があります。その1つ1つを「協働」の視点で見直すことが、今できることではないかと思えます。私たちコーディネーター自身が、楽しんで動ける状態が、またきっとやってくると信じています。たくさんの人と協議をして、話し合っ、共有して、思いをもって、活動に結びつけていくことが大事です。いろんな人が集まって、課題や目的を共有しているからこそ、子どもたちに対して、よい活動が進められる。これは、コロナ禍だけでなく、平常時でも大事なことです。
- ・ 今、子どもたちや教職員はかなりのストレスを感じています。私たちは、まず、学校のよき理解者でありたいです。また、私たちコーディネーターは、不安になっている学校の地域に対する窓口にもなっています。そんな私たちが、学校をきちんと正しく理解していることが必要なことだと感じています。

6 情報交換

- ・ コロナ禍において、地域学校協働活動として、できている活動とできていない活動を整理し、地域学校協働活動を推進していく上での悩みを交流しました。
- ・ 子どもたちの現状(心配なことや気になること)について、意見交換をしながら、コーディネーターとして「子どもたちにできること」を考え、全体で交流しました。
- ・ コロナ禍で動きたくても動けないことが多くなっています。しかし、活動をストップするわけにはいかないジレンマに悩んでおられるコーディネーターの皆さんにとって、今までの活動をふり返り、その活動が子どもたちの成長の何につながっているのかを確認したり、こんな時だけ、今できる子どもたちの気持ちに寄り添った活動は何かを考えたりする機会となりました。

7 感想

- ・ コロナ禍で、できない部分もあるが、もっと地域の方とのつながりを掘り起こすことが必要だと思いました。
- ・ いろんな意見が聞け、自分の活動のヒントが得られた。コロナ禍での活動、工夫していきたいです。維持していきたいです。
- ・ 他市町村での取組の様子を情報交換して、それをいかしていける良い機会だと思いました。コーディネーター同士の悩みなども出し合える場としてもよかったです。
- ・ コロナ禍で、互いに困難を感じていること、悩みを聞くことで、共有できたことが有り難かったです。

